

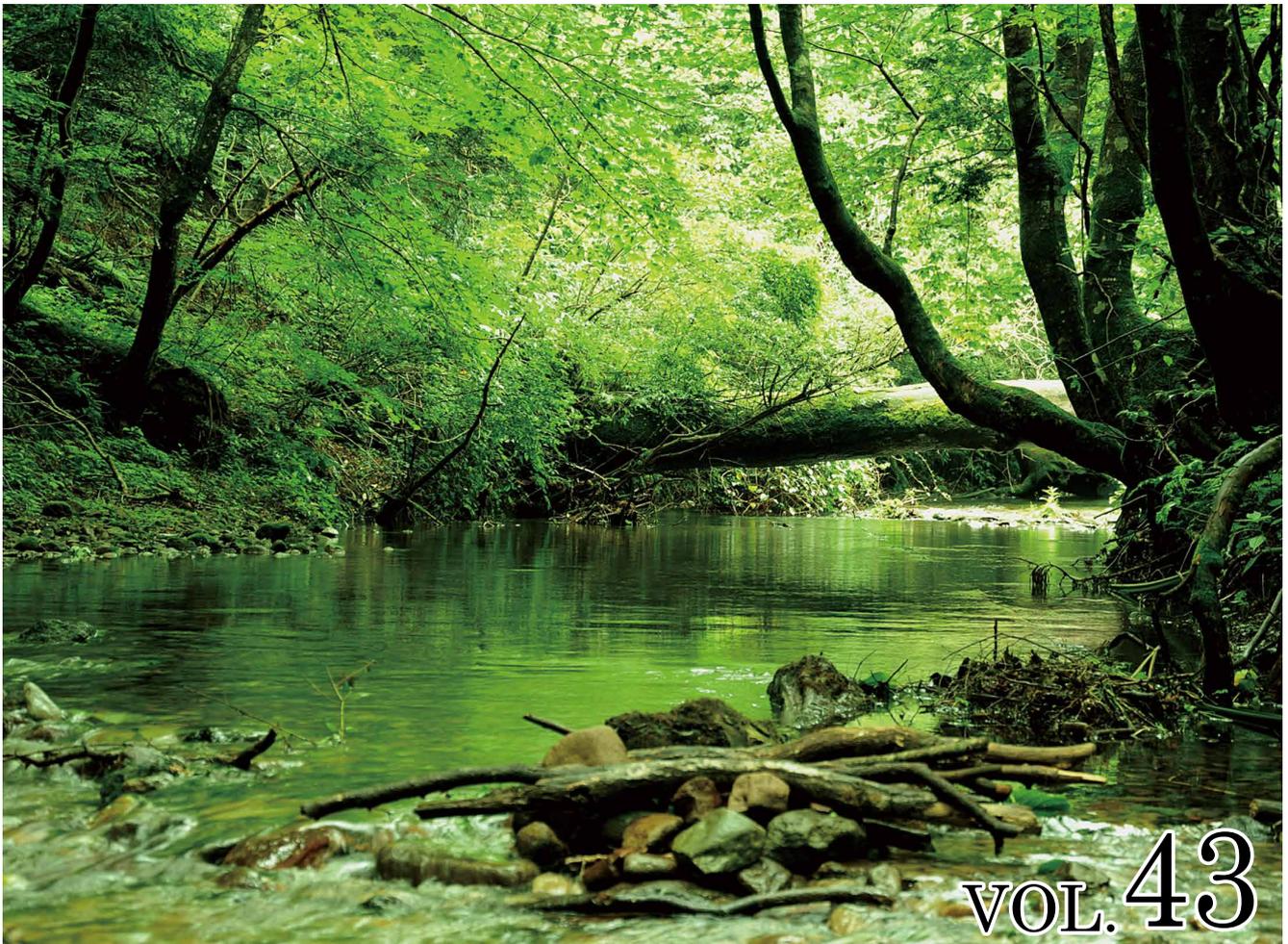
備風

BI

FU

2015・3月

岡山県環境整備事業協同組合



VOL.43

掲示板（事業活動）

全国環境連第12回全国大会

平成26年10月10日 宇都宮市 東日本ホテル

今回の大会では「世界に誇る浄化槽 未来へ残そう美しい自然」をテーマとして開催され、講演では、「廃棄物・リサイクル対策について」環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課長 和田篤也氏と「生活排水の現状と今後の課題について」常葉大学社会環境学部 教授 小川浩氏の両氏により行われた。

和田氏の講演では、総合的かつ合理的にエネルギー転換を行い、適正な廃棄物の処理を行っていく事が重要である旨の事が示され、また、小川氏の講演では、集合住宅における浄化槽の優位性について適切な管理下に有ることを条件として性能が発揮されるという事が示された。また、下水道整備区域外での水洗化には欠かせないと考えられるが、住民に業者不信からくる不満を与えないためにも、日々の努力を惜しまないようにと、浄化槽管理における信頼性の向上に対してエールを送る内容でもあった。

次に、式典の前に被災地への黙祷を行った後、鳥越会長は開会挨拶で、浄化槽は被災に強く、下水が配備できない箇所についても設置しやすいという優位性、又今後の活動において下水道整備に伴う合特法の推進や行政との協調の重要性を強調された。

式典では、業界の発展に貢献した役員及び従業員に対して表彰が行われ、環境整備議員連盟、地元選出の国会議員から祝辞を頂いた。挨拶の中で、「我々がこの場に、この土地に、この仕事に就いていられるのは先祖、先代のおかげで、これについて我々は敬意を払い、邁進していかなければならない」という一文があり、現代は、インターネットの普及により情報の流れが速く、そして便利になってきてはいるが、大切に気づくことが困難な不変なものもあり、それは我々が守って行かなければならないものと、再確認するのにより機会となった。

三原昌守



岡山県環整協浄化槽技術研修会を開催

平成26年11月14日 岡山市 組合研修室

研修は、県内業者より90名が参加し開催された。開会挨拶では、乗藤理事長が東日本大震災時における浄化槽の耐久性及び災害時における水洗化の優位性とこれからの青年部活動の積極的推進等を強調された。

研修Ⅰでは、「浄化槽の維持管理等に関する法体系について」のテーマで、岡山県環境文化循環型社会推進課総括主幹坪井伸次氏が講師となり、地域保健法に基づく浄化槽法などを重点的とし県条例等を含めて改めて保守点検、清掃の時期回数など条例、規則の確認といった内容の講話であった。

研修Ⅱでは「最新型浄化槽の維持管理について」をテーマに、講師をクボタ浄化槽システム担当本田和之氏が行った。最新型クボタ小型浄化槽 KZ 型について、これまでの浄化槽より嫌気ろ床のろ材の強度、担体の強化、エアリフトのカット形状を従来のものと異なる形にすることによる循環率の向上など、最新浄化槽の説明内容となった。最新浄化槽 KZ 型のカットモデルも展示された。本講習により今後の業務向上に活かせる研修となった。閉会の挨拶を青年部妹尾部長が行い、講師陣及び参加者に感謝の意を表し、成功裏に研修会は閉会した。

西本 渡



第11回全国環境連青年部研修会

平成26年11月28日 福岡市 八仙閣

全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会青年部の主催により全国環境連青年部研修会が開催された。小倉剛青年部長が開会の挨拶を行い、今後の組合員の技術向上とこれからの業務遂行について力強く述べた。今回の研修会はテーマ別に2講演が同時開催され、従来よりも高密度な研修となるように試みられた研修会であった。研修Ⅰでは「覚醒する！マーケティングセミナー！」と題して、講師に㈱スタイルプラスの代表取締役 村上博志氏をお迎えして開催され、具体的なマーケティングについてわかりやすく且つユーモアあふれる講演が行われた。

第11回 全国環境連青年部研修会



研修Ⅱでは、公益財団法人日本環境整備教育センター調査・研究グループリーダーの仁木圭三氏による「近年における浄化槽の維持管理」についての講演であり、近年設置されてきている構造基準型および性能評価型の構造機能の解説とともに、小容量・小型化が進んでいる浄化槽の実状をふまえて紹介していただき、これらの維持管理技術についても解説が行われた。個々に関心の高い講演を選択することができ、熱心に聞き入りながらより実りある大変有意義な研修会となった。研修会終了後は会場を移し、全国一般廃棄物環境整備協同連合会会長鳥越澄夫氏、福岡県環境整備事業協同組合連合会会長安徳博氏を来賓にお迎えし、懇親交流会が開かれた。各県の組合員同士の活発な意見交換がなされたとともに、大変和やかな雰囲気の中で親睦が図られ、研修会は盛会の裡に閉会した。

益本麻衣

岡山県環整協、環整連岡山県支部合同新春会

平成27年 2月 5日 岡山市 岡山全日空ホテル

開会は、乗藤理事長の挨拶で始まり、要旨は、昨年1月の最高裁においての判決を示し、「既存の一般廃棄物処理業者は、新規の許可される一般廃棄物処理業の許可について原告適格を有するとの判決があったということ」と、環境省から各市町村に対して「一般廃棄物の処理等について」通知が出されたことについて触れ、組合として、行政及び地域住民のより一層の信頼が得られるよう取り組んでいくことを強く要望した。また、組合創立50周年の年に当たり記念事業実行委員会を立ち上げ、記念誌の発行及び記念式典を行うこと、組合員の積極的な参加を要請した。来賓の挨拶では、岡山県浄化槽団体協議会の八田富夫会長様よりご挨拶を頂き、挨拶の中で下水道と浄化槽の格差問題についてのご指摘があった。続いて、平成27年度の主な行事について牧副理事長より報告があった。



岡山県健康づくり財団大森弘介専務理事による乾杯ご発声後、各組合員は親睦が深まる中、閉会の挨拶では、牧副理事長が、従業員へ還元できるような会社について熱く語られ、盛会裏に新年会は終了した。

田邊拓人

行事予定

- 平成27年 3月 5日 全国環境連事務局長会議（東京）
- 3月11日 全国環境連第6回理事会（東京）
- 3月17日 組合第6回理事会・常任会（組合事務所）
- 3月30日 全国環境連中国地区協議会第6回理事会（岡山市）
- 5月11日 組合第1回理事会・常任会（組合事務所）
- 5月13日 全国環境連第1回理事会（東京）
- 5月28日 組合通常総会（岡山市）
- 6月 4日 全国環境連中国地区協議会第1回理事会（岡山市）
- 6月10日 全国環境連通常総会（東京）
- 6月26日 全国環境連中国地区協議会通常総会・第2回理事会（米子市）
- 7月22日 全国環境連第2回理事会（東京）
- 7月29日 組合第2回理事会・常任会（組合事務所）
- 8月 6日 全国環境連第3回理事会（岡山市）

シリーズ第40回
水とくらし

サステイナブル ディベロップメント

甲元 平

私たちの暮らす星、地球は水の惑星と呼ばれ、宇宙から見ると青く輝く姿が目に見え、浮かびます。しかしながら、そのほとんどは、海水であり、私たちが“使える水”は、そのわずか0.008%しか存在しません。それは、地下水や河川・湖沼といったところに存在し、この水を浄化することによって初めて利用することができるのです。近年は海水から直接利用できる技術も進んでいますが、まだまだ限定的

だといえます。

水を安心して使えるようにするには、いろいろな人の努力が必要です。ダムをつくる人、水を送る人、水をきれいにする人達の働きがあり初めて皆さんのもとへ水が届くのです。また、水を大切に使うということは、地球の資源を大切にすることにも繋がります。「水」は資源であり、無尽蔵にあり続けるものではないからです。わが国では水資源に恵まれていると考えている人が少なくないが、近年は深刻な水不足に見舞われているということを見逃してはならないのです。

水は地球を循環しています。「自分ひとりくらい」という気持ちで汚した水は、地下→河川→海洋→大気（雲）→降雨という経路を経てすべてを汚染してしまいます。人間はもちろん、すべての生命の源は「水」です。水を汚すということは、地球上のすべてを汚すことになります。人間が生命の頂点に立ち続けるためには、汚した水を再び生命が利用できるように浄化することが使命といえます。近年、持続可能な社会という言葉をよく耳にすることがありますが、この水循環のシステムを確立し続けることが、持続可能な社会として、発展することができると思います。

活 動 報 告

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 26. 8. 25～9. 6 浄化槽管理講習の開催（岡山市） | 10. 10 全国環境連第12回全国大会（宇都宮市） |
| 8. 27 全国環境連機関紙編集委員会（東京） | 10. 21 事業部高速道路安全講習会実施（岡山市） |
| 9. 9 事業部事業（高速道路水質保全管理業務）打合せ会議（組合事務所） | 11. 5 今後の浄化槽の在り方に関する懇談会（第2回）（東京） |
| 9. 16 全国環境連第3回理事会（宇都宮市） | 11. 12 50周年記念事業実行委員会（第1回）（組合事務所） |
| 9. 17・18 第28回全国浄化槽技術研修会（さいたま市） | 11. 13 民主党岡山県連へ浄化槽関係の要望書を提出 |
| 9. 22 組合理事会・常任会（組合事務所） | 11. 14 自由民主党岡山県議団へ浄化槽関係の要望書提出 |
| 9. 26 西日本高速道路中国支社へあいさつ（広島市） | 11. 14 組合浄化槽技術研修会を開催（組合事務所研修室） |
| 10. 1 第28回全国浄化槽大会（東京） | 11. 18 全国環境連第4回理事会（別府市） |
| 10. 6 今後の浄化槽の在り方に関する懇談会（第1回）（東京） | 11. 18・19 岡山県貯水槽清掃作業従事者研修会（組合事務所研修室） |
| 10. 7 岡山県備前県民局長表彰（妹尾志津子・金本護様） | 11. 28 第3回臨時理事会（組合事務所） |
| 10. 9 全国環境連臨時理事会（宇都宮市） | 11. 28 第11回全国環境連青年部研修会（福岡市） |

編集後記

地域における浄化槽の優位性を認識し、浄化槽が創る水質保全及び水洗化の向上を主眼として業務を行い、浄化槽の普及に組合員一丸となって邁進しましょう。



発行日 平成27年3月26日
 発行 岡山県環境整備事業協同組合
 編集 機関紙担当理事 寺尾 邦弘
 住所 岡山市南区山田290-2
 tell/fax 086-282-6455/086-282-6685
 E-mail okakan01@poem.ocn.ne.jp
 印刷 (有)エーピープランニング